

新規・継続等	新規	分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等		
市町村名	高山村		ふりがな箇所名	しんぼり新堀		事業年度	H23年度～ <small>(完了年度は見込み)</small>	H26年度	
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	擁壁工 L=250m				H22年度末事業進捗率	0%		
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%		
	H23年度実施内容	測量・調査・設計 1式				用地補償費ベース	0%		
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残			
概要	事業費計(千円)	225,000	0	0	10,500	225,000			
	国庫支出金	106,875	0	0	4,988	106,875			
	財源内訳	その他	11,250	0	0	525	11,250		
	県債	96,000	0	0	4,000	96,000			
	一般財源	10,875	0	0	988	10,875			
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部 ランク	部 評点	政策評価課 ランク	政策評価課 評点
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	20戸以上	10～19戸	10戸未満	A	7	A	7
		保全対象公共施設数	2箇所以上	1箇所	なし		6		6
		保全対象に援護者施設があるか	重要施設あり	一般施設あり	なし		2		2
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし			1		1
	小計						16		16
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去10年に1回以上	災害履歴地	なし	A	8	A	8
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		3		3
		防災計画上の位置づけ	位置づけあり	位置づけなし			2		2
	小計						13		13
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C3.0以上	B/C1.0以上3.0未満	B/C1.0未満	B	8	B	8
		早期発現度	5年未満	5年～10年未満	10年以上		6		6
		小計							
	緊急性 (25)	斜面の高さ	30m以上	10m以上30m未満	5m以上10m未満	A	5	A	5
斜面平均勾配		45°以上	40°以上45°未満	30°以上40°未満	3		3		
地質状況		崩積土、火山砕屑物、強風化岩	段丘堆積物	軟岩・その他	4		4		
斜面形状(オーバ-ハング、遷急線、谷地形、凸地形)		あり	なし		3		3		
植生の状況		不良	普通	良好	3		3		
保全対象の位置		がけ下にある	がけ上にある		5		5		
小計						23		23	
計画 熟度 (20)	地元の協力	用地等の協力が得られる	用地等の協力が概ね得られる	協力が現時点では得られていない	A	10	A	10	
	地域からの要望	高い	それほど高くない			10		10	
小計						20		20	
費用対効果(B/C)		1.93	評価の合計			A	86	A	86
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	高さ110mのがけ下に人家13戸の保全対象があり、特に山上小児科は災害者要援護者関連施設である。また、主要地方道須坂中野線は第2次緊急輸送路の指定されている。法面には一部倒木が見られるため、地元から対策の要望が上がっている。							
	地域からの要望経緯	平成19年1月28日の土砂災害防止法による区域指定住民説明会において、地域住民からハード対策の要望を受けている。また、併せて高山村から早期事業着手の要望を受けている。							
	事業説明等の経緯	土砂災害防止法による区域指定住民説明会を平成19年1月28日に行っている。							
	環境・景観への配慮項目	既存の健全な立木を残すとともに在来種を中心とした緑化を図り、環境及び景観に配慮する予定。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	説明会や意見交換会の開催などで、地域住民の意見を積極的に取り入れるとともに、施設の維持管理について、地域の積極的な関与を促したい。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	保全対象には人家12戸、災害時要援護者施設である山上小児科等がある。近年は落石が発生しており、早急に対策が必要である			政策評価課意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。				